

# 特産品

経済産業大臣から「伝統的工芸品」として以下の10品目が、また「石川県伝統工芸品」として和紙、美川仏壇、桐工芸、檜細工、珠洲焼、加賀毛針の6品目が指定されています。このほか本県の特産品として、大樋焼、加賀象嵌、郷土玩具等の工芸品、銘菓、郷土料理などがあります。

## 伝統的工芸品一覧

項	目	年度	企業数	従業者数	生産額	資料
九谷焼	さまざまな色絵装飾（上絵付）に特徴があり、五彩（緑・黄・赤・紫・紺青）が使われ、最後に金や銀が使われることもある。時代や窯によって作風が異なる。	平成23年度	281	848	4,746	石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会
		平成24年度	276	833	4,660	
		平成25年度	275	841	4,655	
山中漆器	ろくろを使った挽物技術が特色で、その手法は数十種に及ぶ。豪華な高時絵を施した茶道具、特に棗の制作には定評がある。	平成23年度	318	1,500	9,800	山中漆器連合協同組合
		平成24年度	317	1,400	10,000	
		平成25年度	305	1,400	9,800	
輪島塗	堅牢な塗りと加飾の優美さを特徴とし、日本を代表する漆器として高く評価されている。	平成23年度	533	1,466	4,500	輪島漆器商工業協同組合
		平成24年度	525	1,395	4,300	
		平成25年度	523	1,390	4,000	
加賀友禅	写実的な草花模様を中心とした絵画調の柄で、多彩で濃い色調と三色ぼかしの表現や友禅五彩（臙脂、藍、黄土、草、古代紫）が使われている。	平成23年度	244	610	3,910	協同組合加賀染振興協会
		平成24年度	238	590	3,580	
		平成25年度	214	560	3,287	
金沢仏壇	加賀蒔絵の伝統を受けた上品な蒔絵の美しさと耐久性が最大の特色で、豪華な仕上がりは美術工芸品の風格を兼ね備えている。	平成23年度	39	102	300	金沢仏壇商工業協同組合
		平成24年度	38	105	300	
		平成25年度	37	90	200	
七尾仏壇	精密な彫刻、中でも竹ヒゴではめ合わせた眼鏡障子は独特で、蒔絵の肉盛りはすべて錆上げであわびの青貝を使用している。	平成23年度	29	100	500	七尾仏壇協同組合
		平成24年度	27	95	500	
		平成25年度	27	90	450	
金沢箔	金の地金を1万分の4ミリ以下の厚さまで均一に広げる技術は、他の追随を許さず、全国生産の98%以上を占めている。	平成23年度	106	578	2,565	石川県箔商工業協同組合
		平成24年度	103	581	2,669	
		平成25年度	97	675	2,630	
金沢漆器	室内調度品、茶道具などの一品制作が特徴である。加賀蒔絵に螺鈿・平文・卵殻などの技法も使われている。	平成23年度	23	52	120	金沢漆器商工業協同組合
		平成24年度	21	50	120	
		平成25年度	21	50	100	
牛首紬	太く節のある絹糸で織るため、野趣に富んだ素朴な美しさを持ち、独特の味わいがある。別名「釘抜紬」と呼ばれるほど丈夫である。	平成23年度	5	71	198	石川県牛首紬生産振興協同組合
		平成24年度	5	67	184	
		平成25年度	5	68	220	
加賀繻	模様染の加飾として始まったため、刺し繻や肉入れ繻などぼかしや立体感のある技法が発達し、豪華で繊細な表現が特色である。	平成23年度	8	40	14	石川県加賀刺繻協同組合
		平成24年度	5	40	14	
		平成25年度	4	35	7	

資料 石川県経営支援課伝統産業振興室